

プログラム番号	06034
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	豊橋技術科学大学 工学研究科		
②学長名	西 永 頌		
③所在地	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	教務部国際交流課 研究者・留学生交流係長	
	担当者氏名	清水由紀子	e-mailアドレス ryugaku@office.tut.ac.jp
	電話・FAX番号	電話 0532-44-6577	FAX 0532-44-6547
⑤ホームページ URL	http://www.tut.ac.jp/		
⑥大学院在学留学生数	126人(うち、国費留学生 55人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	留学生のための英語による複合型英語特別コース
②プログラムの形態	修士課程(一般・ツイング) (一般2年間、ツイング1年間)
③実施研究科・専攻	大学院工学研究科機械システム工学専攻
	(所在地) 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
④連携大学・研究科・専攻名	大学院工学研究科 生産システム工学、電気・電子工学、情報工学、物質工学、 建設工学、知識情報工学、エコロジー工学 各専攻
⑤受入れ学生数	42人(うち研究留学生優先配置人数: 10人) (うち日本人学生数: 0人、日本人学生が受講し単位取得が可能)
⑥担当教員数	合計181人(うち専任: 179人、兼担: 0人、非常勤: 2人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 工学研究科長
	研究科長名 西 永 頌

【3. プログラムの内容】

1. 特色

本プログラムは、開発途上国の自立発展を支える、高度技術教育を通じての人材育成を目的として開設されている大学院修士課程における英語特別コース（一般コース）の教育内容を一層充実するとともに、新たにツイニングコースを併設し複合型英語特別コースとして質的・量的に新たな英語特別コースとしてスタートするものです。

本プログラムは、英語のみによる授業により言葉の障壁を取り除き、また書類審査のみの選考により入学前の渡日は不要としています。

ツイニングコースでは、成績の優秀な学生に対しては国費留学生枠を優先的に割り当て、大学独自の経済的支援として授業料免除措置・奨学金なども予定しています。ツイニングコースでは、特に優れた資質を有する学生を対象とする特別教育コースとすることを重点目標としています。

本プログラムの特色として次の3点が挙げられます。

① 国際的に活躍できる指導的技術者の育成

本特別コースは、工学分野に関する最先端の技術科学教育を行い、開発途上国からの留学生を国際的に活躍できる指導的技術者として育成します。技術産業の基盤を担う機械・電気・建設・情報等の領域に加えて、環境・エネルギー問題等、「地球規模の諸問題」に取り組むことができる国際的・学際的技術者を育成します。

国費留学生の他、JICA長期研修員、JDS（留学生支援無償事業）留学生、各国の政府、大学、民間企業等の現職者を外国人留学生として積極的に受け入れ、開発途上国の人材育成の期待に十分応えていくプログラムとなっています。

② 管理・経営能力を有する指導的人材の育成

本特別コースで学ぶJICA長期研修員、JDS（留学生支援無償事業）留学生、各国の政府、大学等の現職者は、修了後母国において政府機関や教育研究機関で指導的な職に就き、管理・経営能力を有する指導的人材として期待されることから、本特別コースにおいては、社会文化学・管理科学・計画経営学等に関する分野の科目を増やしていくとともに、共通科目として全員が履修します。

③ 国際的人的ネットワークの構築

本特別コース修了生を核とする、国際的人的ネットワークを構築します。本特別コースで開講する授業は、日本人学生も受講が可能であり、様々なバックグラウンドを有する学生が本特別コースで交流することにより国際的視野を有する人材育成、日本と諸外国の文化交流の活性化などが実現されています。

2. 教育・指導体制（論文指導等サポート体制）

(1) 担当研究科名および専攻科名

大学院工学研究科所属の教員により教育・研究・論文指導サポート体制が構築されています。

① 複合型英語特別コース（一般コース）

機械システム工学専攻、生産システム工学専攻、物質工学専攻、建設工学専攻、知識情報工学専攻、エコロジー工学専攻

② 複合型英語特別コース（ツイニングコース）

機械システム工学専攻、生産システム工学専攻、電気・電子工学専攻、情報工学専攻、物質工学専攻、建設工学専攻、知識情報工学専攻、エコロジー工学専攻

(2) カリキュラムの構成

① 特別カリキュラムの措置

本特別コースのため、特別カリキュラムを編成しています。プログラムは12月からスタートします。

ツイニングコースでは本学工学教育国際協力研究センターが取り組みを計画している遠隔授業と連携することで、限られた時間での効率的な指導を計画しています。

②その他（学位取得促進のための工夫）

チューターの配置や学生相談により、研究上の問題点についても早期に対処します。

(3) コースの修了要件

本特別コースの修了には、修士課程に2年以上在学し、課程修了に必要な30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け英語で作成された修士論文の審査および最終試験に合格することが必要です。優れた業績をあげた者については、在学期間を短縮して修了する事ができます。

(4) 日本語補講等の措置

日本語学習暦によって、13時間から40時間の日常会話等の補講を行います。

なお、ツイニングコースでは協定校においても日本語学習を行います。

3. 使用言語

全て英語で行います。

4. 募集方法、学内選考方法等

(1) 募集方法

①複合型英語特別コース（一般コース）

豊橋技術科学大学ホームページから募集要項をダウンロードできます。

また、アジア地域を中心とした海外の主要大学、UMAP加盟国及びその他主要国大使館、開発途上国の人材育成事業を展開しているJICA事務所や開発銀行等にも募集要項を送付します。

協定校や共同研究による交流実績のある大学、本学が独自の支援を実施している大学へは学生の推薦を依頼します。

②複合型英語特別コース（ツイニングコース）

平成19年度はホーチミン市工科大学のみで募集しますが、今後対象大学を増やしていきます。

(2) 選考方法

応募書類による成績及び研究計画や、推薦書による人物評価により選考を行います。

5. 修了者へのフォローアップ

本学では、帰国留学生による出身国・母国での同窓会組織の設置を進めており、本学教員・スタッフが参加して本学の現状を報告しています。また、2カ所ある海外事務所からも本学の情報を帰国留学生へ発信しています。従来の英語特別コース修了生も含め、現在留学生名簿の整備を進めています。

また、修了生にはアンケートにより現在の状況を確認するとともに、特別コースや本学での生活についても、意見を求め、今後のプログラムの改善に役立てています。